

計算書類に対する注記(法人本部用)

法人名：社会福祉法人じねん

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物・建物付属設備・構築物・車輛運搬具・器具及び備品一定額法

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 一 期末在職職員の退職給付に備えるため、退職金取扱規程に基づく期末要支給額により計上している

役員退職慰労引当金 一 役員の退職慰労金給付に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額により計上している

賞与引当金 一 職員に対する夏期賞与支給に備えるため、当該支給見込額のうち、当該会計年度の費用として計上すべき金額を見積もり計上している

2. 採用する退職給付制度

職員の退職金の支給に備えるため、社会福祉法人じねん退職金取扱規程に基づき、退職給付引当金の満額を退職給付預金としている。

3. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人拠点計算書類

拠点区分資金収支計算書、拠点区分事業活動計算書、拠点区分貸借対照表

(2) 法人本部拠点区分資金収支明細書

省略している

(3) 法人本部拠点区分事業活動明細書

省略している

4. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

5. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位： 円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具及び備品	1,454,129	549,769	904,360
ソフトウェア	405,825	405,825	0
合計	1,859,954	955,594	904,360

(当該年度中の除却分を除いた額)

当該年度中に除却したもの

(単位： 円)

	当初取得額	除却額	償却累計額
器具及び備品	540,000	1	539,999
合計	540,000	1	539,999

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

9.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

10.重要な後発事象
該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態
を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記(グループホーム愛敬用)

法人名：社会福祉法人じねん

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物・建物付属設備・構築物・車輛運搬具・器具及び備品一定額法

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 一 期末在職職員の退職給付に備えるため、退職金取扱規程に基づく期末要支給額により計上している

役員退職慰労引当金 一 役員の退職慰労金給付に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額により計上している

賞与引当金 一 職員に対する夏期賞与支給に備えるため、当該支給見込額のうち、当該会計年度の費用として計上すべき金額を見積もり計上している

2. 採用する退職給付制度

職員の退職金の支給に備えるため、社会福祉法人じねん退職金取扱規程に基づき、退職給付引当金の満額を退職給付預金としている。

3. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) グループホーム愛敬拠点計算書類

拠点区分資金収支計算書、拠点区分事業活動計算書、拠点区分貸借対照表

(2) グループホーム愛敬拠点区分資金収支明細書

省略している

(3) グループホーム愛敬拠点区分事業活動明細書

省略している

4. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位： 円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	1,047,113	0	0	1,047,113
建物	37,189,716	0	2,772,913	34,416,803
合計	38,236,829	0	2,772,913	35,463,916

5. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位: 円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	90,528,993	56,112,190	34,416,803
建物付属設備	250,000	20,937	229,063
構築物	2,435,000	2,313,498	121,502
車輛運搬具	5,987,920	5,987,917	3
器具及び備品	3,440,327	2,897,083	543,244
合計	102,642,240	67,331,625	35,310,615

(当該年度中の除却分を除いた額)

当該年度中に除却したもの

(単位: 円)

	当初取得額	除却額	償却累計額
器具及び備品	669,420	3	669,417
合計	669,420	3	669,417

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記(グループホーム寿楽用)

法人名：社会福祉法人じねん

1.重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却の方法

建物・建物付属設備・構築物・車輛運搬具・器具及び備品一定額法

(2)引当金の計上基準

退職給付引当金 一 期末在職職員の退職給付に備えるため、退職金取扱規程に基づく期末支給額により計上している

役員退職慰労引当金 一 役員の退職慰労金給付に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末支給額により計上している

賞与引当金 一 職員に対する夏期賞与支給に備えるため、当該支給見込額のうち、当該会計年度の費用として計上すべき金額を見積もり計上している

2.採用する退職給付制度

職員の退職金の支給に備えるため、社会福祉法人じねん退職金取扱規程に基づき、退職給付引当金の満額を退職給付預金としている。

3.拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1)グループホーム寿楽計算書類

拠点区分資金収支計算書、拠点区分事業活動計算書、拠点区分貸借対照表

(2)グループホーム寿楽拠点区分資金収支明細書

省略している

(3)グループホーム寿楽拠点区分事業活動明細書

省略している

4.基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

基本財産の種類	(単位： 円)			
	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	0	18,789,000	0	18,789,000
建物	19,852,415	19,503,000	4,016,263	35,339,152
合計	19,852,415	38,292,000	4,016,263	54,128,152

5.基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

6.担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位: 円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	112,385,722	77,046,570	35,339,152
建物	1,514,938	863,109	651,829
建物付属設備	1,900,800	683,435	1,217,365
構築物	1,187,400	1,183,944	3,456
車両運搬具	9,999,243	9,999,238	5
器具及び備品	4,522,931	3,165,819	1,357,112
合計	131,511,034	92,942,115	38,568,919

(当該年度中の除却分を除いた額)

当該年度中に除却したもの

(単位: 円)

	当初取得額	除却額	償却累計額
器具及び備品	387,480	2	387,478
合計	387,480	2	387,478

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態

を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記(グループホーム康陽用)

法人名：社会福祉法人じねん

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物・建物付属設備・構築物・車両運搬具・器具及び備品一定額法

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 ー 期末在職職員の退職給付に備えるため、退職金取扱規程に基づく期末要支給額により計上している

役員退職慰労引当金 ー 役員の退職慰労金給付に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額により計上している

賞与引当金 ー 職員に対する夏期賞与支給に備えるため、当該支給見込額のうち、当該会計年度の費用として計上すべき金額を見積もり計上している

2. 採用する退職給付制度

職員の退職金の支給に備えるため、社会福祉法人じねん退職金取扱規程に基づき、退職給付引当金の満額を退職給付預金としている。

3. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) グループホーム康陽計算書類

拠点区分資金収支計算書、拠点区分事業活動計算書、拠点区分貸借対照表

(2) グループホーム康陽拠点区分資金収支明細書

省略している

(3) グループホーム康陽拠点区分事業活動明細書

省略している

4. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	10,000,000	0	0	10,000,000
建物	21,295,472	0	6,969,421	14,326,051
合計	31,295,472	0	6,969,421	24,326,051

5. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位: 円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	161,189,540	146,863,489	14,326,051
建物付属設備	23,354,100	6,098,999	17,255,101
構築物	3,330,500	1,824,596	1,505,904
車輛運搬具	6,618,150	6,618,147	3
器具及び備品	4,007,670	2,958,141	1,049,529
合計	198,499,960	164,363,372	34,136,588

(当該年度中の除却分を除いた額)

当該年度中に除却したもの

(単位: 円)

	当初取得額	除却額	償却累計額
器具及び備品	247,590	2	247,588
合計	247,590	2	247,588

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記(グループホームとうま用)

法人名：社会福祉法人じねん

1.重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却の方法

建物・建物付属設備・構築物・車輛運搬具・器具及び備品一定額法

(2)引当金の計上基準

退職給付引当金 一期末在職職員の退職給付に備えるため、退職金取扱規程に基づく期末要支給額により計上している

役員退職慰労引当金 一役員退職慰労金給付に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額により計上している

賞与引当金 一職員に対する夏期賞与支給に備えるため、当該支給見込額のうち、当該会計年度の費用として計上すべき金額を見積もり計上している

2.採用する退職給付制度

職員の退職金の支給に備えるため、社会福祉法人じねん退職金取扱規程に基づき、退職給付引当金の満額を退職給付預金としている。

3.拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1)グループホームとうま計算書類

拠点区分資金収支計算書、拠点区分事業活動計算書、拠点区分貸借対照表

(2)グループホームとうま拠点区分資金収支明細書

省略している

(3)グループホームとうま拠点区分事業活動明細書

省略している

4.基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位： 円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地(グループホーム)	4,136,761	0	0	4,136,761
土地(オレンジカフェ)	4,251,671	0	0	4,251,671
建物(グループホーム)	72,777,684	0	6,717,940	66,059,744
建物(オレンジカフェ)	22,568,146	0	2,044,789	20,523,357
合計	103,734,262	0	8,762,729	94,971,533

5.基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

6.担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位: 円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	175,254,595	88,671,494	86,583,101
建物付属設備	671,000	66,698	604,302
構築物	4,977,211	3,254,425	1,722,786
車輛運搬具	1,772,310	1,772,309	1
器具及び備品	2,295,908	2,110,518	185,390
合計	184,971,024	95,875,444	89,095,580

(当該年度中の除却分を除いた額)

当該年度中に除却したもの

(単位: 円)

	当初取得額	除却額	償却累計額
器具及び備品	118,650	1	118,649
合計	118,650	1	118,649

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし

10. 重要な後発事象
該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態
を明らかにするために必要な事項
該当なし

計算書類に対する注記(小規模多機能とうま用)

法人名：社会福祉法人じねん

1.重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却の方法

建物・建物付属設備・構築物・車輛運搬具・器具及び備品一定額法

(2)引当金の計上基準

退職給付引当金 一期末在職職員の退職給付に備えるため、退職金取扱規程に基づく期末要支給額により計上している

役員退職慰労引当金 一役員の退職慰労金給付に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額により計上している

賞与引当金 一職員に対する夏期賞与支給に備えるため、当該支給見込額のうち、当該会計年度の費用として計上すべき金額を見積もり計上している

2.採用する退職給付制度

職員の退職金の支給に備えるため、社会福祉法人じねん退職金取扱規程に基づき、退職給付引当金の満額を退職給付預金としている。

3.拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1)小規模多機能とうま計算書類

拠点区分資金収支計算書、拠点区分事業活動計算書、拠点区分貸借対照表

(2)小規模多機能とうま拠点区分資金収支明細書

省略している

(3)小規模多機能とうま拠点区分事業活動明細書

省略している

4.基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	3,102,571	0	0	3,102,571
建物	59,384,797	0	5,443,400	53,941,397
合計	62,487,368	0	5,443,400	57,043,968

5.基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

6.担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位: 円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	108,868,000	54,926,603	53,941,397
構築物	347,909	211,899	136,010
車輛運搬具	4,827,050	4,827,048	2
器具及び備品	1,225,152	1,177,461	47,691
合計	115,268,111	61,143,011	54,125,100

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし